

第一校長

小名濱版

郷土の名士(七)

(前記は道場の地圖)

伊達たけ女史は、中央で活躍する郷土の名士である。伊達たけ女史は、大正二年から明治二十年まで、小名浜小学校の校長として、多くの生徒たちに教育を施した。伊達たけ女史は、大正二年から明治二十年まで、小名浜小学校の校長として、多くの生徒たちに教育を施した。伊達たけ女史は、大正二年から明治二十年まで、小名浜小学校の校長として、多くの生徒たちに教育を施した。

伊達たけ女史は、大正二年から明治二十年まで、小名浜小学校の校長として、多くの生徒たちに教育を施した。伊達たけ女史は、大正二年から明治二十年まで、小名浜小学校の校長として、多くの生徒たちに教育を施した。伊達たけ女史は、大正二年から明治二十年まで、小名浜小学校の校長として、多くの生徒たちに教育を施した。

新町議の側面観
立花雄七君



公益質屋設立 議員間に眞剣の調査

御詠歌流行

久之漁工事

新町議の側面観
立花雄七君



公益質屋設立 議員間に眞剣の調査

御詠歌流行

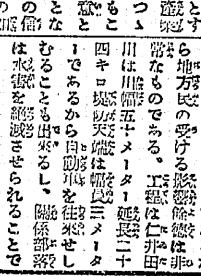
久之漁工事

新町議の側面観
立花雄七君



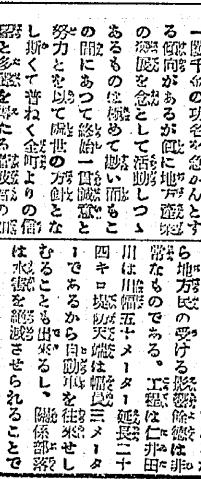
菅波末吉君を論議す

切と關係者の不一致



菅波末吉君を論議す

新町議の側面観
立花雄七君



菅波末吉君を論議す